

産業廃棄物処理計画書

令和3年4月26日

大阪府知事 殿

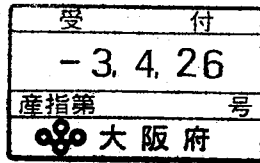
提出者

住 所 大阪市旭区新森4丁目5-16

氏 名 旭鍍金工業株式会社
代表取締役 上田泰久

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (06) 6951-1831



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭鍍金工業株式会社 庭窪工場
事業場の所在地	大阪府守口市八雲西町4-30-26
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24-金属製品製造業
②事業の規模	製造出荷額：約21000万円/年
③従業員数	18人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2種 「発生フローシート」「産廃処理工程フローシート」のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙「環境管理組織図」(環境管理マニュアル6版より抜粋)の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和2(2020)年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	排出量	0 t	1265 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・無機性廃汚泥 H20.8~埋立処分から再生可能業者への委託に変更 H28.4~業者都合により処分先変更 H30.9~業者変更により有価扱いとなる ・廃油 H22.12~取扱部署閉鎖で閉鎖 ・廃酸 H24.3~有価取引業者を確保 *H24.3以後処分実績は無し ・R01.4~一部を除き電子マニフェスト 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥 有価	有機性汚泥
	排出量	2000 t	17 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・仕事量は横ばい見込み。材料等ロス使用量の解消に取り組むが、品質基準、排水規制が厳しくなり、排出量は現状並みを見込む。 ・無機性汚泥は全て有価売却を予定する。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 個々の専用廃棄物置き場を設置している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	3 t	t	t

②計画

廃プラスチック類			
5 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和2（2020）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	37 t
	（これまでに実施した取組） 無機性汚泥 ・H30.9～業者変更により有価扱いとなる （R1年度は業者都合により有価外が1回発生）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	58 t
	（今後実施する予定の取組） ・無機性汚泥は全て有価売却を予定する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和2（2020）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	1228 t
（これまでに実施した取組） 無機性汚泥 ・H30.9～業者変更により有価扱いとなる （R1年度は業者都合により有価外が1回発生）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	1942 t
（今後実施する予定の取組） ・無機性汚泥は全て有価売却を予定する。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	0 t	t	t

②計画

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2（2020）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2（2020）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	無機性汚泥 有価
	全処理委託量	0 t	37 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	0 t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	0 t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・無機性廃汚泥 H20.8～埋立処分から再生可能業者への委託に変更 H28.4～業者都合により処分先変更 H30.9～業者変更により有価扱いとなる ・廃油 H22.12～取扱部署閉鎖で閉鎖 ・廃酸 H24.3～有価取引業者を確保 *H24.3以後処分実績は無し 		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	0 t	t	t

②計画

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

有機性汚泥	廃プラスチック類		
0 t	3 t	t	t
t	3 t	t	t
t	0 t	t	t
t	3 t	t	t
t	0 t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥 有価	有機性汚泥
	全処理委託量	58 t	17 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・無機性汚泥は全て有価売却を予定する。			
※事務処理欄			

②計画

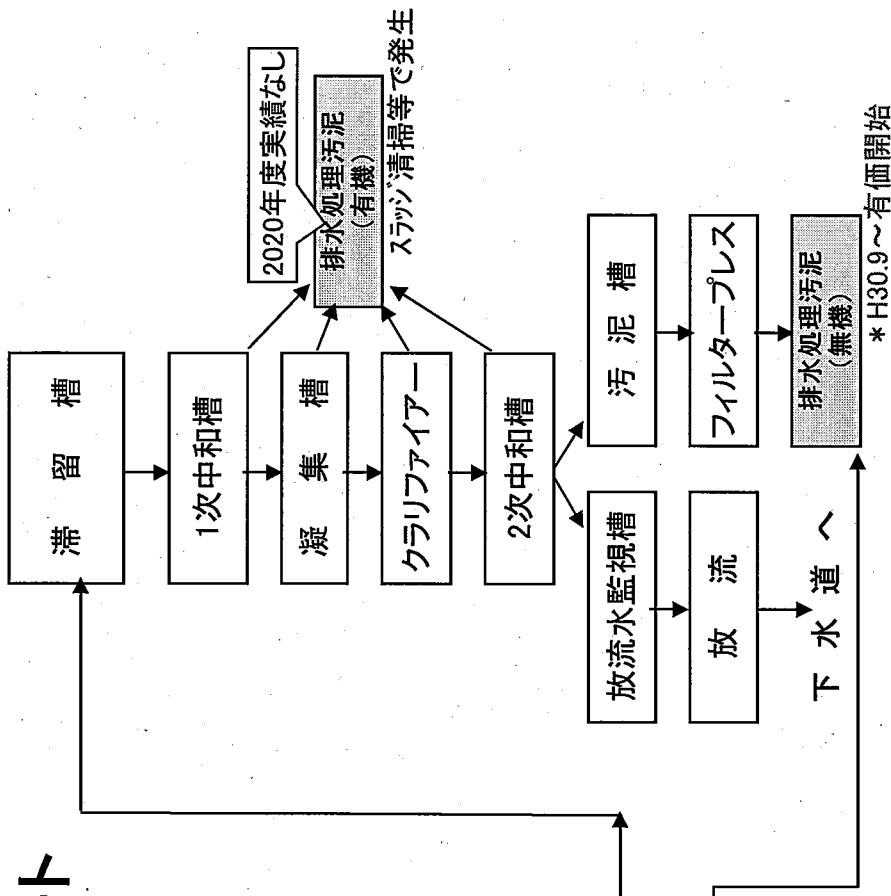
廃プラスチック類			
5 t	t	t	t
5 t	t	t	t
0 t	t	t	t
5 t	t	t	t
0 t	t	t	t

備考

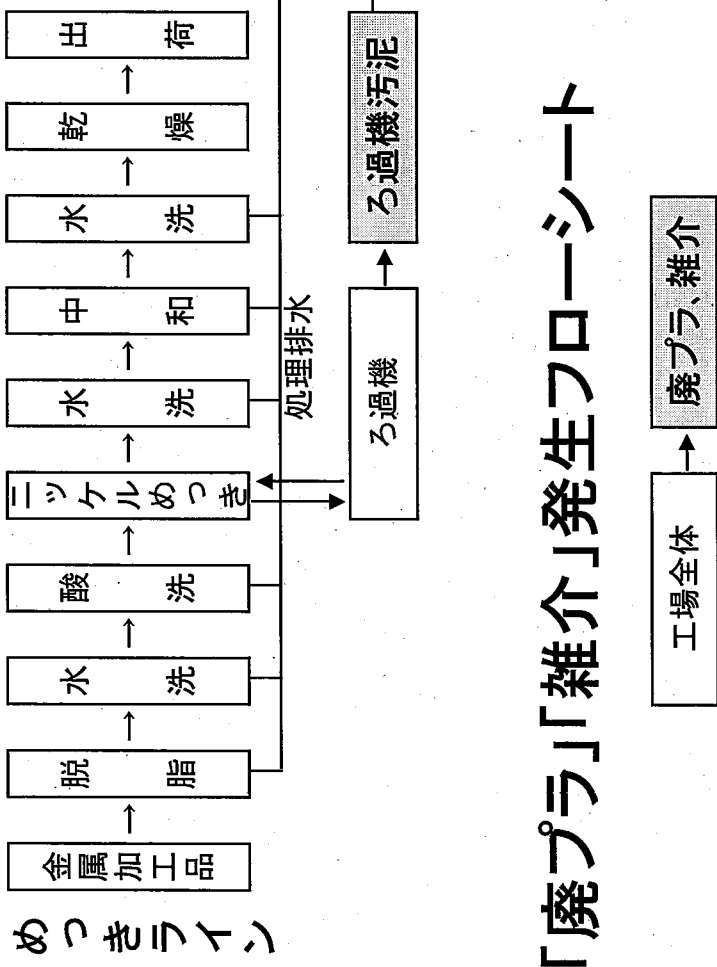
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

「排水処理汚泥」発生工程フローシート

排水処理工程

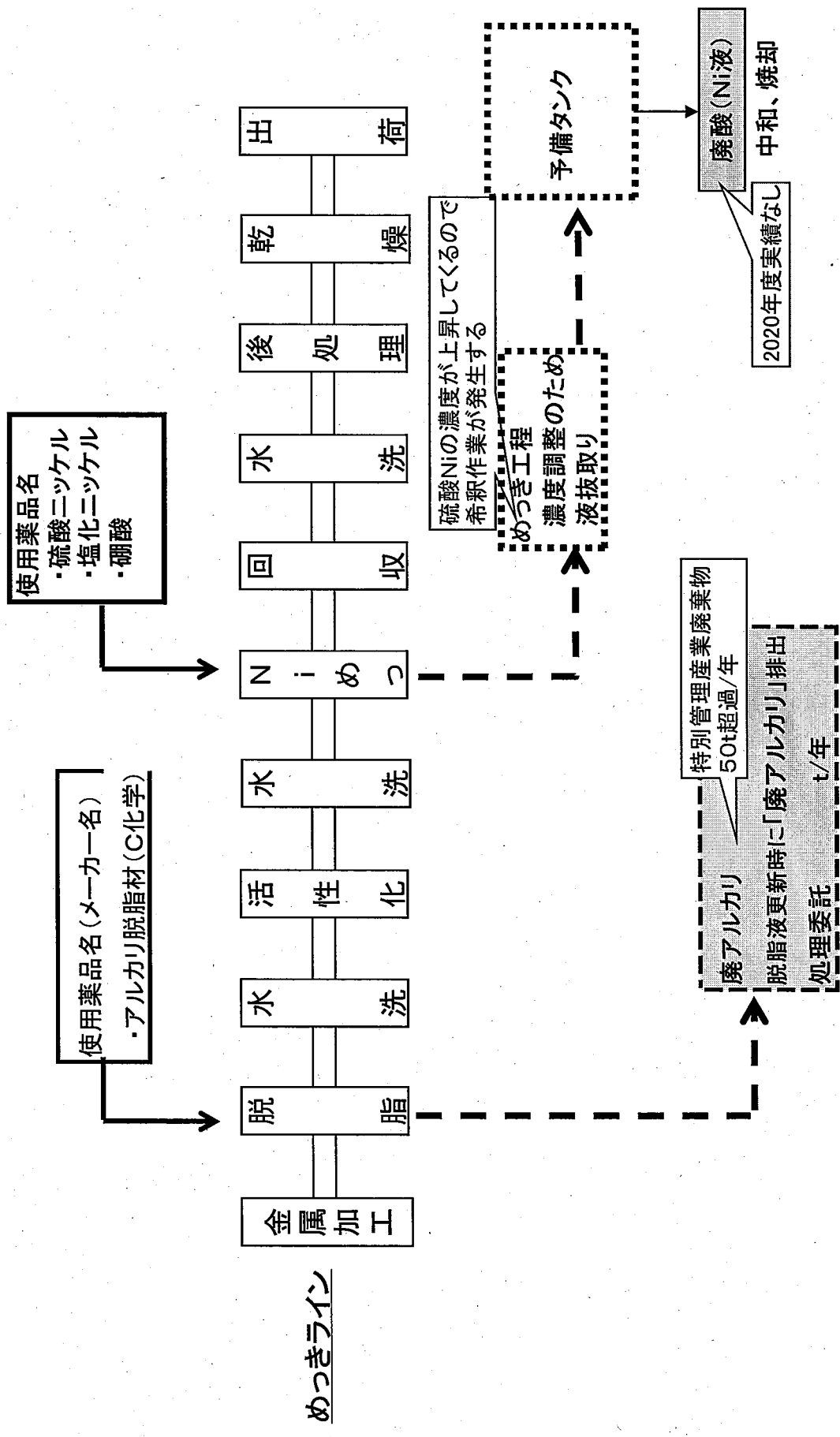


* H30.9～有価開始

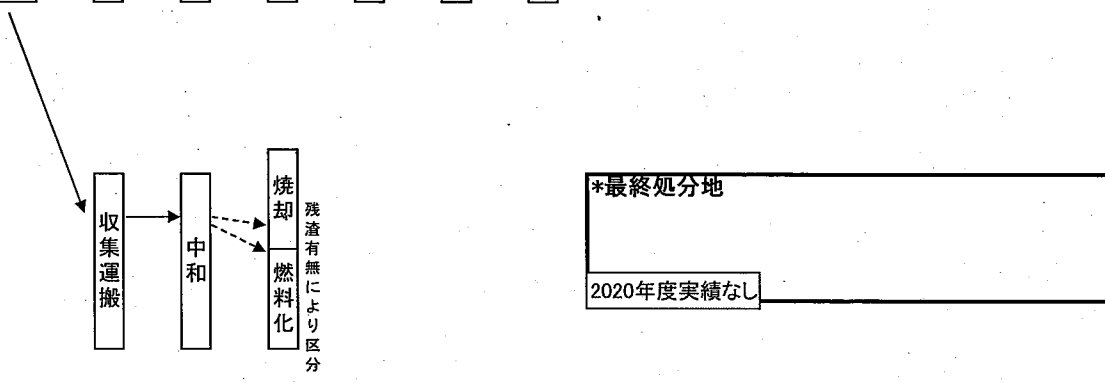
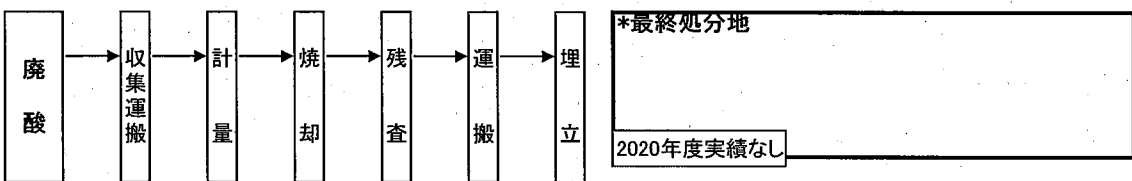
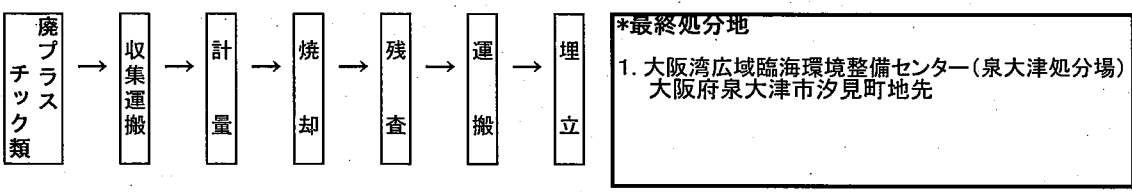
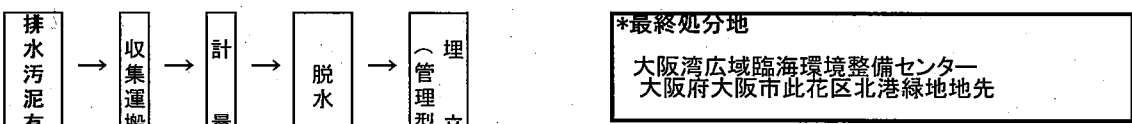
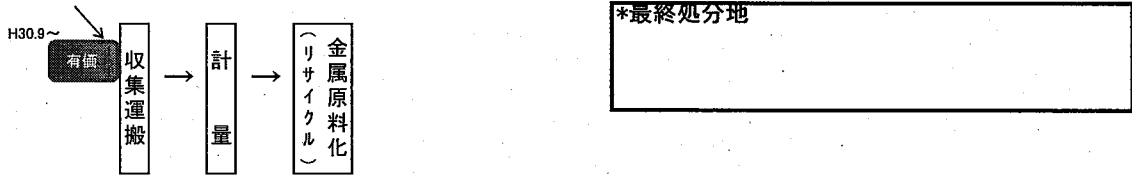
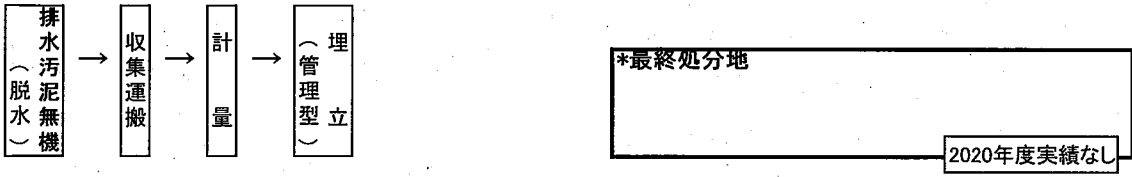


「廃プラ」「雑介」発生フローシート

「廃アルカリ」「廃酸」発生フローシート



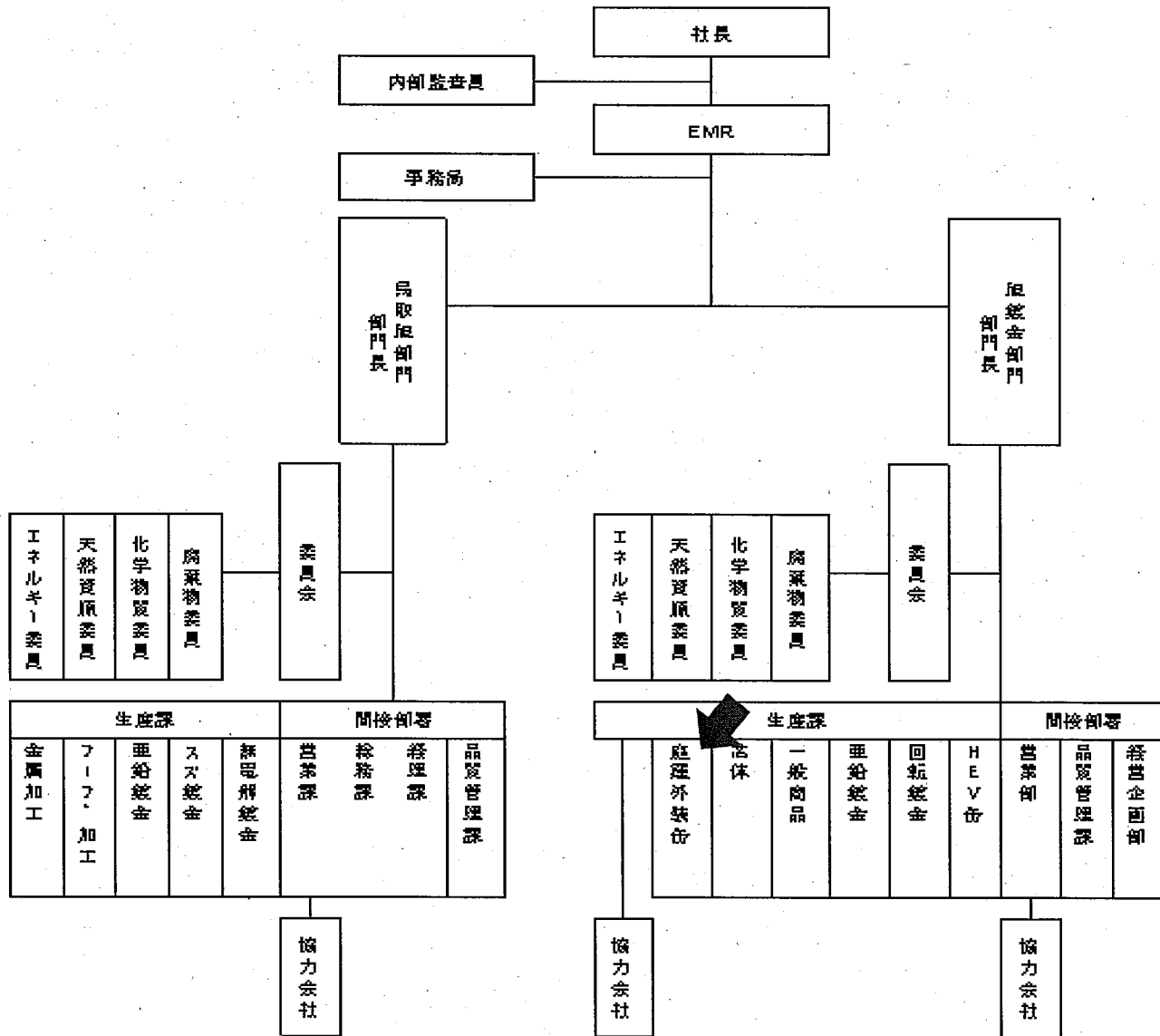
*廃棄物処理工程フローシート



5.3 組織の役割、責任及び権限

当社における「環境管理組織」を以下に示す。

なお、環境管理活動は部門単位とする。



環境負荷化学物質	担当部署
旭鍍金部門	品質管理課
鳥取旭部門	品質管理課